

南相馬市立八沢小学校

教科名等：学級活動

単元(題材)名：みんな なかよし

学 年：第3学年

実施状況

<授業のねらい>

あたたかい言葉をつかうことによって、友達とよりよく関われることに気づくことができる。

<主な活動内容>

- ① 言葉には、「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」とがあることを知り、これまでの経験を出し合って、言葉から受ける感じ方の違いについて考える。
- ② よりよい人間関係を築くにはどのような言葉遣いをすればよいか、ロールプレイを通して話し合う。
- ③ 自分のめあてを決め、実践する。

児童生徒の感想

- ・ ふわふわ言葉とチクチク言葉を考えるのが楽しかった。
- ・ ふわふわ言葉を使って生活すると仲良くなれる。
- ・ チクチク言葉は嫌な気持ちになるので、これからは使わないようにしたい。
- ・ みんなと仲良くするためには、チクチク言葉は言ってはいけない。
- ・ (ふわふわ言葉やチクチク言葉から受ける違いに気づいて) 言葉ってすごいなあ。
- ・ いい言葉がたくさんある。考えて使っていきたい。



参観者の感想

- ・ 自分はなんとも思っていなくても、ちょっとした会話の中に、相手を傷つけてしまう言葉があるかもしれない。そういう時に今日の授業が浮かんできて「はっ」と思ってもらえれば。
- ・ 人に言ってよい言葉と悪い言葉をきちんと学ぶことで、相手のことも考えるようになるし、いじめにもならないと思うので、意義のある授業だった。
- ・ 小さな言葉一つでも相手を傷つけたり、救ったりするので、常に心がけてほしい内容だった。
- ・ 頭ではわかっているけどできないことが多く、自分に置き換えて感じる大切さを知った。

指導者の感想

- ・ 今のところ言葉による大きな問題はないが、交友関係の広がりやテレビ・雑誌等からの影響を受けることによって、今後トラブルに発展する危険性がないとはいえない。そういう事案が起こる前に、相手にかかる言葉一つにしても、わずかな気遣いで、よりよい人間関係が築けることに気づかせることができた本授業の内容は、ねらいを達成するために効果的であったと思われる。また、今回は保護者参観日に行ったので、これからの言葉遣いや生活態度について、親子であれこれ話し合ったり考えたりするよい機会となった。
- ・ 授業展開については、課題解決の必要感を児童に持たせたり、これまでの体験や思いを喚起するような発問が足りなかったりという反省点もあるが、この授業以降、日常会話の中で相手を思いやる言動がよく見られるようになり、授業による意識化が図られたととらえている。